

第4期西東京市子ども読書活動推進計画

【「令和3・4年度の実績」及び「課題・改善点（令和5年度以降予定）」】

令和6年3月

第4期 西東京市子ども読書活動推進計画 進行状況調査表

「第4期西東京市子ども読書活動推進計画」（以下「第4期計画」とする。）の取組状況の現状をまとめた進行状況調査表を掲載しています。

「第4期計画」のそれぞれの取組に対して、策定以降の令和3・4年度の各課の現状と、それを踏まえた課題・改善点を令和5年度以降の取組予定に掲載しています。表の記載内容については、担当各課の回答によるものです。

今回の中間報告において「第4期計画」を見直し、今後につなげるような内容としました。

		取組名	概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課	
I 乳幼児を対象とした取組							
1 保育園							
	充実	1-(1)-①	クラス内の絵本コーナーの充実	保育園では、絵本などの点検、買い替えを定期的に行い、各クラスに年齢や発達段階に応じた絵本を設置した絵本コーナーを更に充実させます。	職員の中で絵本係りを決め、定期的に点検・修理等を行い絵本環境を整えてきました。また、園児の興味・発達にあった絵本の購入を行ない、子どもが自分で、好きな絵本を選び環境の充実を図りました。	引き続き、絵本などの点検、買い替えを定期的に行い、各クラスに年齢や発達段階に応じた絵本を設置した絵本コーナーを更に充実させます。	幼児教育・保育課
	充実	1-(1)-②	貸出絵本コーナーの充実	保育園にある絵本の貸出コーナーを充実させ、あわせて絵本だより等を定期的に発行することで、子どもと身近な大人たちが一緒に絵本に興味をもてるよう取り組みます。更に図書館の利用へとつなげていきます。	絵本の貸出コーナーは、新型コロナウイルス感染拡大防止策において、縮小や中止にしました。可能な園では、絵本だよりの発行や絵本コーナーを工夫し、絵本への興味を意識しました。	可能な園より、保育園にある絵本の貸出コーナーの再開、絵本だよりの発行など、園児だけではなく保護者も絵本に興味を持てるように充実させていきます。	幼児教育・保育課
	継続	1-(2)-①	絵本を楽しむ安心・安定した環境づくり	乳児期(0～2歳)は、保育者と共にゆったりと一対一で絵本を楽しむことを大切にします。幼児期(3～5歳)は、子どもたちはもちろんのこと、保育者とも一緒に絵本を読む落ち着いた環境づくりをこれからも心がけていきます。また、集団で絵本や紙芝居を楽しむことで、読み手の保育者と共に、子ども同士の共感を深めます。	ゆったりとした雰囲気の中で絵本を楽しむ環境を整えました。乳児期は、保育者と1対1で楽しむ環境づくりを意識し、幼児期は、落ち着いた雰囲気の中で絵本を読むと共に、集団への読み聞かせや素ばなしを聞く機会をとおして、共感する心を育てる環境づくりをしました。	引き続き、ゆったりとした雰囲気の中で絵本を楽しむ環境を整えます。また、年齢や発達に応じて1対1で読む機会、友達と共感しあえる機会等を持てる環境づくりに取り組みます。	幼児教育・保育課
	継続	1-(2)-②	地域のおはなしボランティアとの協力と連携	保育園と地域のおはなしボランティアとの協力と連携により、素ばなし、手遊び、読み聞かせなどを通して、子どもたちの経験の幅を広げていきます。	年に4～5回、4～5歳児を中心に、地域のおはなしボランティアによる素ばなし・絵本の読み聞かせ・手遊びなどを楽しむ機会を持ちました。	引き続き、地域のおはなしボランティアの方の協力を得て、素ばなし、手遊び、読み聞かせなどを通して、子どもたちの経験の幅を広げる機会を持ち、また、令和5年度は図書館の「絵本と子育て事業（ブックスタート）」を共催していきます。	幼児教育・保育課
	継続	1-(2)-③	保育園における図書館の活用推進	市内各図書館に近い保育園から率先して、保育活動の中で、園児が図書館を利用する機会を増やすことを推進してまいります。	新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、園児の図書館利用を見合わせました。保育士が絵本や紙芝居を借用し、園児への読み聞かせ等を行いました。	多くの絵本や紙芝居に触れる機会として可能な園では図書館利用を再開してまいります。	幼児教育・保育課
	継続	1-(2)-④	保育園職員を対象とした読書活動の研修	保育園では、読書活動に特化した職員研修を行い、子どもの読書活動への保育者及び保育園に関わる職員全体の意識を高めます。	各保育園にて4～5歳児向けにはおはなしボランティアによる絵本の読み聞かせ・素ばなしを実施してもらう中で、子どもへの絵本の読み方などを学びました。また、読書の前段階となるわらべうたについて、保育園研修を実施し、学んだ事を日々の保育に活かしました。読書活動に特化した研修については、実施できていません。	今後も各保育園にて4～5歳児向けにはおはなしボランティアによる絵本の読み聞かせ・素ばなしを実施してもらう中で、子どもへの絵本の読み方などを学びます。令和5年度の幼児教育・保育施設全園研修の中で、素ばなしの会の方を講師に招き、研修を行い、保育士の意識を高め、学んだ事を日々の保育に活かしています。次年度以降についての幼児教育・保育施設全園研修については、実施に向け検討してまいります。	幼児教育・保育課
2 児童館							
	充実	2-(1)-①	「あそびのなかの図書室」を発信	あそび場である児童館の図書室は、自分の好きなスタイルで本と触れ合うことができる場所です。児童館にはまわりに気兼ねなく、本を手に取り楽しむことができる場があることを発信してまいります。	日々の利用の中で、職員が絵本の紹介や読み聞かせを行ったりしています。親子で読み聞かせをしている場面もよく見受けられます。	これからも児童館ならではの利用ができることを利用者に伝えていきます。また、絵本を読むことを遊びのひとつとして提案してまいります。	児童青少年課
	充実	2-(1)-②	蔵書の充実	図書館で発行しているおすすめ絵本リスト「はじめまして～赤ちゃんにおくるえほん30冊～」や「えほんだいすき 3さい～5さい」に掲載されている本を中心に、絵本の蔵書を充実させていきます。また、掲載本以外の同著者の作品も紹介できるようにしていきます。	定期的に蔵書を確認し、図書に特化した予算がない中でも、毎年少しずつ購入しています。また図書館の団体貸出も利用しています。	今後も既存のものを有効活用しながら工夫して蔵書を充実していきます。	児童青少年課

		取組名	概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	2-(2)-① 本を手に取りやすい環境の整備	乳幼児専用室には、利用者の手の届きやすいところに絵本コーナーを設けます。図書室でも本の紹介や配架の工夫等で本を手に取りやすい環境を整えます。絵本以外に、遊びの本や図鑑、手作りおもちゃ、季節行事に関する本など、子どもも大人も楽しめる本もそろえていきます。	毎月発行する乳幼児向けのおたよりにお勧めの本を掲載しています。新規に購入した絵本やその時期にお勧めの絵本は、ポップを作ったり表紙が見えるように配架し、PRをしています。	手に取りやすい環境整備を続けます。毎月のおたよりでの絵本の紹介も継続していきます。それをきっかけに「また読んでみよう。」という気持ちを育てていきます。	児童青少年課
	継続	2-(2)-② 乳幼児活動での読み聞かせ等の実施	乳幼児活動では、子どもに本を手渡す身近な大人たちにも本の楽しさを伝えられるよう、読み聞かせ活動を実施していきます。また、各館の乳幼児向けおたよりでは、絵本の紹介コーナーを継続します。	季節や年齢、活動のテーマにあった読み聞かせをしています。図書館の大型絵本や紙芝居も活用しています。	乳幼児活動での大切な活動なので、これからもさまざまな読み聞かせを実施していきます。	児童青少年課
	継続	2-(2)-③ 地域のおはなしサークル・ボランティアとの協力と連携	地域のおはなしサークル・ボランティアとの協力と連携を進めます。	定期的におはなし会や乳幼児活動で読み聞かせを実施しています。実施したいとの申し出があった際には、個々の館にとどまらず、近隣の児童館の紹介も行っています。	地域性もあるので、その地域に合った活動ができるように協力していきます。また、令和5年度は「図書館の絵本と子育て事業（ブックスタート）」を実施します。今後は、3歳児対象おはなし会を共催していきます。	児童青少年課
3 図書館						
	充実	3-(1)-① 手遊び、わらべうたの講座の実施	保護者が家庭でも気軽にできるような手遊び、わらべうたの講座を定期的に実施します。	・令和4年度 「おひざのうてゝ〜乳幼児保護者向け絵本講座〜」（全2回）のなかで、手遊び・わらべうたを紹介しました。	・令和5年度 はとさん文庫共催企画、講演会「うたおう、あそぼうわらべうた」を実施します。 「おひざのうてゝ〜乳幼児保護者向け絵本講座〜」（全2回）のなかで、手遊び・わらべうたを紹介します。親子での参加を望む声が多く、短時間での講座が必要となるため、絵本講座のなかで紹介する形を継続します。 「わらべうた〜手ぶくろ人形も登場!」（全2回）を柳沢図書館、「親子で楽しむわらべうたと人形劇」を中央図書館にて実施します。	図書館
	充実	3-(1)-② 情報発信の充実	図書館ホームページを活用し、情報発信の充実に努めます。乳幼児向けの本の情報や選書に役立つリスト、行事等の案内、「西東京市子ども読書活動推進計画」についてのお知らせ等、様々な情報を掲載します。	おはなし会や各種イベント等随時お知らせを掲載しています。 「はじめまして〜赤ちゃんにおくるえほん30冊〜」「えほんだいすき 3さい〜5さい」を図書館ホームページに掲載しました。	行事の案内・報告を発信するとともに、新しい情報の掲載・更新を継続していきます。	図書館
	継続	3-(2)-① 魅力ある書架づくりと提供方法の工夫	「西東京市図書館資料収集基準」に基づき、乳幼児の発達段階に応じた資料を収集し、展示を工夫するなど魅力ある書架づくりを行い、乳幼児、保護者が利用しやすい環境整備を進めます。	令和2年度から実施している、貸出し用「絵本のおたのしみ袋」企画を継続実施し、活用を促進しました。 令和3年度におすすめ絵本リスト「えほんだいすき 3さい〜5さい」掲載絵本のコーナーを市内全6館に設置し、手に取りやすい書架づくりを行いました。	令和2年度から実施している、貸出し用「絵本のおたのしみ袋」企画を継続実施します。乳幼児でも絵本が楽しめる展示の工夫をしていきます。	図書館
	継続	3-(2)-② 図書館利用に困難がある子どもへの支援の充実	特別な支援を必要とする子どもたちには、ハンディキャップサービス担当職員と協力し、点字図書やマルチメディアデイジー図書を収集して提供します。また、日本語を母語としない子どもたちとその保護者には、多文化サービス担当職員と協力し、外国語資料の収集、わかりやすい表示・案内、おはなし会でのサポート等、図書館を利用しやすくしていきます。	英語・中国語・韓国語による「いろいろなことばでたのしむおはなし会」を実施しました。	活字による読書が難しい方へのサービスとして、デイジー図書だけでなくマルチメディアデイジー図書を収集し、提供できる資料の充実を図ることで、利用の拡大に努めます。日本語を母語としない子どもたちへ外国語によるおはなし会を継続して実施します。	図書館

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	3-(2)-③	「ちびっこおすすめ絵本パック」の貸出し	読み聞かせを家庭でも楽しんでもらえるように、乳幼児の年齢に合わせ児童サービス担当司書がすすめる絵本3冊を1セットにまとめた「ちびっこおすすめ絵本パック」の貸出しを継続して行います。	「ちびっこおすすめ絵本パック」の貸出しを継続して行いました。 令和3年度は、1,054件 令和4年度は、1,071件の貸出しがありました。	「ちびっこおすすめ絵本パック」の貸出しを継続して行います。 「はじめまして～赤ちゃんにおくるえほん30冊～」の改訂のため、内容の変更を検討する必要があります。	図書館
	継続	3-(2)-④	「絵本と子育て事業（ブックスタート）」・「絵本と子育て事業 3歳児フォロー事業」の実施	乳幼児を対象に「絵本と子育て事業（ブックスタート）」として、児童サービス担当司書が作成した「はじめまして～赤ちゃんにおくるえほん30冊～」を配布し、保護者に絵本を通じて豊かな言葉と、一緒に過ごす時間の大切さを伝える方法として読み聞かせを実演します。また、3歳児を対象に「絵本と子育て事業 3歳児フォロー事業」を行い、継続して子どもの読書活動を支援します。	新型コロナウイルス感染拡大防止策により、3～4カ月児健康診査の会場での実施ができなくなったため、絵本の配布等は、図書館への来館か郵送に変更して実施しました。 3歳児フォロー事業は、令和3年度は、ひばりが丘図書館と谷戸図書館、令和4年度は、ひばりが丘図書館と柳沢図書館で実施しました。参加者が少ないため、継続はせず、おはなし会の案内送付の方法に変更しました。	絵本と子育て事業（ブックスタート）及び3歳児フォロー事業を継続して実施し、様々な会場で子どもと保護者の読書活動を支援していきます。 令和5年度は「絵本と子育て事業（ブックスタート）」を開始してから20年にあたるため、20周年記念講演会を実施します。 「もっと知りたい絵本の読み聞かせ～言葉と心を育む。絵本を共に読む本当の意味～」 講師：内田早苗氏（待ちよみ絵本講師）	図書館
	継続	3-(2)-⑤	絵本講座の実施	読み聞かせを家庭でも楽しんでもらえるように、乳幼児を持つ保護者を対象に、絵本の紹介や読み聞かせの実演など児童サービス担当司書による絵本に関する講座を実施します。	令和4年度は、「おひざのうで♪～乳幼児保護者向け絵本講座～」(全2回)のなかで、絵本の読み聞かせの方法や年齢別の絵本の選び方について講座を実施しました。	読み聞かせについて、保護者の要望に沿いながら、親子が家庭でも取り組めるよう、今後も継続して実施していきます。 令和5年度以降も「おひざのうで♪～乳幼児保護者向け絵本講座～」の実施を継続していきます。	図書館
	継続	3-(2)-⑥	ボランティアとの連携と市民団体への支援	子どもの読書活動に関わるボランティアの読み聞かせや手遊び、わらべうたあそび等の質の向上を目指し、講座、講演会を実施します。また、活動に必要な情報を提供します。	おはなし会ボランティアを対象に令和3年度は、「フォローアップ講座」、令和4年度は、「中級講座」を実施しました。	読み聞かせの技術の向上を目的とする研修や講座を実施するとともに、活動に必要な情報を提供していきます。 令和5年度におはなし会ボランティアを対象に「フォローアップ講座」を実施します。	図書館
	継続	3-(2)-⑥	ボランティアとの連携と市民団体への支援	おはなし会の充実を図るため、児童サービス担当司書とおはなし会に関わるボランティアとの合同会議を実施します。また、おはなし会ボランティアについては「フォローアップ研修」を実施し、質の向上を目指します。	合同会議は新型コロナウイルス感染拡大防止策以降実施していません。 令和3年度は、おはなし会に関わるボランティアを対象に「フォローアップ研修」を実施しました。	おはなし会の充実と情報共有のため、児童サービス担当司書とおはなし会に関わるボランティアが一堂に会する合同会議を今後も継続して開催します。 ボランティアの読み聞かせや手あそび等の技術向上のため、対象年齢が一定でないおはなし会に沿った、いろいろなテーマで研修を実施します。	図書館
	継続	3-(2)-⑦	司書の派遣	乳幼児の保護者が参加するサークル等の要望に合わせて児童サービス担当司書を派遣し、乳幼児の読書活動に関わる啓発活動を実施します。	新型コロナウイルス感染拡大防止策以降、派遣要請はありません。	今後も、乳幼児の保護者が参加するサークル等に対して、児童サービス担当司書派遣を行っていることを周知するとともに、要請に応じ、児童サービス担当司書を派遣します。 令和5年度は、「Como-café」主催の「Como-café」、田無公民館主催の女性のための講座「絵本とわらべうたで楽しい子育て」に児童サービス担当司書を派遣する予定です。	図書館
	継続	3-(2)-⑧	乳幼児施設の読書環境整備への支援	団体貸出の利用促進や除籍資料の有効利用等、いつでも本を手にとることができる環境づくりを進めます。	寄贈及び除籍された児童資料の有効活用のため、市内乳幼児関係施設に除籍資料の配布を行いました。	除籍資料の配布については、今後も継続していきます。市内に点在している乳幼児施設の来館の利便性を考え、配布会場を固定するのではなく、輪番制にするなどの工夫は必要です。	図書館

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	3-(2)-⑨	子どもの読書活動推進に関する企画の実施	子どもの読書活動を推進する講演会及び講座を実施する際は、市民団体等と連携した事業の実施に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 「子どもの成長と絵本」講演会を実施しました。 講師：市村久子氏（絵本研究家） 「目で見ると西東京市子ども読書活動推進計画」パネル展を実施しました。（12団体参加） 令和4年度 「子どもたちにおはなしを～おはなしボランティア入門講座～」（全3回講座）を実施しました。 講師：もぐらの会 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 はとさん文庫共催企画を実施します。 ①講演会「一人読みへのいざない ～『聞く読書』から『読む読書』へ～」 ②講演会「うたおう、あそぼうわらべうた」 ③講演会「子どもたちにおはなしの楽しみを」 	図書館
	継続	3-(2)-⑩	児童サービス担当司書の研修の充実	児童サービス担当司書が子どもの読書活動を十分に推進できるよう、積極的に研修に参加し読書相談や読書活動に必要なとされる知識を習得し、専門性の向上に努めます。	令和3年度は、東京都公立図書館児童サービス・青少年サービス合同担当者会、令和4年度は、多摩地区児童サービス研究会に参加し、研修とともに他自治体の児童サービス担当司書との情報交換を行いました。	今後も積極的に研修に参加し、読書相談や読書活動に必要なとされる知識を習得し、専門性の向上に努めていきます。	図書館
	継続	3-(2)-⑩	児童サービス担当司書の研修の充実	児童サービス担当司書が、参加した研修内容を共有することで担当全体のレベルアップを図ります。	参加した研修内容を他の児童サービス担当司書と知識を共有し、担当全体のレベルアップを図りました。	職員が専門的研修へ参加して得た知識などを職員全体で共有する取り組みにより、図書館組織全体で職員の専門性を高め、育成することでレベルアップを図ります。今後も積極的に研修に参加していきます。	図書館
II 小学生を対象とした取組							
1 児童館							
	充実	1-(1)-①	「あそびのなかの図書室」を発信	子ども自身があそびの中で知りたいことや興味をもったことについて、調べたり深めたりできる場であることを発信していきます。	日々の利用の中で、子ども達からのニーズにこたえられるようになっています。遊びのなかで、その場にあった声掛けをし、調べてみることを促しています。	子どもの興味に寄り添い、遊びが豊かになるようなはたらきかけをしていきます。	児童青少年課
	充実	1-(1)-②	蔵書の充実	子どもたちが現実を生きる力をつけていけるような分野（自然・生活・芸術など）の本を提供できるようにしていきます。	定期的に蔵書を確認し、図書に特化した予算がない中でも、子ども達からのリクエストも聞きながら毎年少しずつ購入しています。劣化の激しい本については、買い替えをするようにしています。また図書館の団体貸出も利用しています。	今後も既存のものを工夫して有効活用しながら、児童館にこそあるべき蔵書を吟味して充実していきます。	児童青少年課
	継続	1-(2)-①	本を読みやすい環境の整備	本の紹介や配架の工夫等で読みたい本がすぐ見つけられる環境を整えます。読むスタイルも様々なので、複数人でも楽しめる本などもそろえていきます。あわせて、本の貸出しができることも周知していきます。	学校の夏休み等で児童館の利用時間が増える時期には、みんなで楽しめる本をいつもより目立つように配架したり、新刊が入ったことをポップでPRしています。読み物の本に夢中になって大笑いしたり、音読している子も共存できるように配慮しています。	遊びのひとつとしての読書ができる環境を提供していきます。	児童青少年課
	継続	1-(2)-②	行事での読み聞かせ等の実施	定期的に絵本や紙芝居の読み聞かせ行事を実施します。	各館でおはなしの会を実施しています。	今後も継続していきます。	児童青少年課
	継続	1-(2)-③	地域のおはなしサークル・ボランティアとの協力と連携	地域のおはなしサークル・ボランティアとの協力と連携を進めます。	新型コロナウイルス感染症の流行もありましたが、各館ともにおはなしサークルやボランティアと協力して実施しています。	今後も新規参入も含めて継続していきます。	児童青少年課

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	1-(2)-④	図書館とのさらなる連携	資源の有効活用として図書館からのリサイクル本（除籍資料等）をこれからも活用していきます。また、図書館の団体貸出の利用も継続していきます。	図書館からのリサイクル本を活用しました。団体貸出も継続しています。	レファレンスやおすすめの本等の助言をいただき、児童館の図書活動を充実していきます。	児童青少年課
2 教育指導課・学校							
	充実	2-(1)-①	学校図書館の充実	令和2年度の小学校教科用図書の改訂に伴い、教育課程の展開に寄与するため各教科等で必要な資料について再度、検討を行います。言語活動や情報活用能力の向上に資するための蔵書と学習内容の整合性を図ります。	令和2年度の教科書改訂に伴い、国語科、道徳科を中心に教科書掲載図書で未所蔵のものを購入し、教科指導に対応できるようにしました。	令和6年度に教科書改訂があるため、各教科の改訂内容を把握し、購入計画を立て、対応します。	教育指導課・学校
	充実	2-(1)-①	学校図書館の充実	学校図書館における図書資料について、廃棄と買い替えを進め図書資料の充実を図ります。	常に所蔵資料を精査を行い、文部科学省「学校図書館図書標準」を元に全体数を考えながら、廃棄、買い替えを行っています。	引き続き、所蔵資料が新しい情報に対応できるかどうか、児童の心を豊かにする図書が整備されているかということを考慮し、廃棄、買い替えを行っています。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-①	学校図書館の充実	読み聞かせコーナーの設置、季節や学習内容、読書週間や読書旬間に合わせた掲示など、司書教諭と学校司書が協力して児童へ読書意欲を喚起する環境を整えるよう取り組みます。	日々の授業では、季節や教科の進度に合わせた読み聞かせを行い、読書旬間中は、司書教諭と学校司書が中心に様々な企画を考え、実施しました。	新型コロナウイルス感染拡大防止策で取りやめになっていた読み聞かせコーナーが再度設置されました。パーティションもなくなり、開放的な空間になりました。今後の感染状況に留意し、過ごしやすい場を作っていきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-①	学校図書館の充実	司書教諭と学校司書が連携し、各教科等の学習内容や学習課題について授業を行う教員と共有し、学習に必要な情報を精査して児童に提供できるよう努めます。	司書教諭から学校内で進められている研究テーマや、季節ごとの学習内容の情報が学校図書館に寄せられ、それに基づいた資料収集、提供を行っています。	教科書改訂によって、変わる学習内容の情報を早くに収集し、授業をする教員や児童の要望に応えられるようにしていきます。また、探求学習に活かせる資料の充実を図っていきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-②	読書指導の充実	毎年4月頃に学校図書館のオリエンテーションを行い、学校図書館の利用について指導します。また、各学校の状況に合わせて図書館の見学や図書館の職員の派遣を通して、児童が図書館について理解を深められるように努めます。	各クラス、4月第1回目の利用日は、学校司書の勤務日に設定するようにし、オリエンテーションを行いました。また、2年生の学習「町たんけん」と合わせて、令和3年度は図書館司書の学習会、令和4年度は市図書館の見学を行いました。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-②	読書指導の充実	学校図書館では、教育課程の展開に寄与するため自校の学校図書館にない本や授業に関連した資料を幅広く提供できるよう、図書館や他校との相互貸借等の連携を深めるように努めます。	市図書館の団体貸出をはじめ、各学校所蔵資料の相互貸借を活用し、幅広い資料要求にこたえています。	今後も同様に図書館の団体貸出を利用し、各学校のネットワークを使って相互貸借による資料活用をしていきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-②	読書指導の充実	司書教諭や学校司書が中心となり、学校生活に関わる教科指導の中で、本の活用を考え、読書の意義や楽しさを伝える様々な取組を行うよう努めます。	読書活動の目指すもの、意義や楽しさを伝えるための取り組みを明確にし、学校全体の共通理解に努めました。	上手にデジタル情報と併用していくために、年度当初や、読書旬間のときだけでなく、教科指導の折にふれて、図書資料の活用を提案していきます。また、探求学習・調べる学習の方法についての資料の充実を図っていきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-②	読書指導の充実	小学校の図書委員会において、集会の実施や図書の紹介、読み聞かせ、新聞やポスターの作成等の自主的な活動を通じて、児童に読書の楽しさを積極的に伝えるよう努めます。	読書旬間中、コラボ給食で使われた絵本を図書委員が給食中に読み聞かせしたり、本の福袋や読書ビンゴなどの準備、呼びかけ、実施を行いました。また、リモートビブリオバトルの運営も教員の指導で児童が自主的に行いました。	決められた内容で委員会活動するのではなく、教職員がサポートしながら、児童の話し合いで内容を決め、主体的な活動が行えるようにします。	教育指導課・学校

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	2-(2)-③	読書習慣の定着	日常的に読書に親しむために、学校図書館を計画的に利用し必要な本や文章等を選ぶことができるように指導するほか、学級文庫の充実等の取組をすることで、わずかな時間でも活用して読書活動に充てられるようにします。	市図書館の団体貸出資料を利用して、各クラスに良質な学級文庫を設置しています。高学年にも計画的な利用を働きかけ、常に手元に本がある環境作りを心がけています。	一週間に一度の授業で貸し借りをすることから、本を手にして読む習慣につなげていくようにします。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-③	読書習慣の定着	「朝読書」「業間読書」「読書週間」「読書旬間」「読書月間」を設けることで、読書の習慣化を促します。	春と秋の2回「読書月間」を設け、読書活動への取り組みを強化することで、それ以外の期間も引き続き読書に取り組むように促しています。	読書旬間の期間だけでなく、朝学習や授業のすきまの時間にも読書を取り入れたいと思います。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-③	読書指導の充実	教育委員会では、毎年11月を西東京市読書月間とし、読書活動の活発化を促します。	西東京市の読書月間と同じ時期に各校、「読書月間」「読書旬間」を設定し、「家庭読書」を呼びかけ、家庭にも読書活動を広める働きかけをしています。	今まで通り、西東京市の読書月間と合わせた時期に学校の「読書月間」も設定し、家庭にも啓発します。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-③	読書指導の充実	保護者及び地域のボランティアによるおはなし会等の実施を通して、児童が様々な形で本と出会える機会を作ります。	保護者が中心となって、読み聞かせを行っています。その際、事前に学校図書館に来館し、学校司書が選書の手伝いをすることもあります。	新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、回数を減らしていましたが、今後は、可能な限り増やしていきたいです。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-④	研修の実施	学校司書連絡会を定期的に実施して、情報交換や資質向上のための研修を行います。	各学校の取り組みや、課題、本の紹介など、情報交換、話し合いをし、資質向上に努めています。	令和5年度から勤務体系も変わったため、より情報交換が必要になりました。単なる連絡の時間ではなく、情報の共有を通して、より良い勤務状況を模索しつつ、資質向上に努めます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-④	研修の実施	教育委員会が主催する司書教諭及び図書担当教員並びに学校司書を対象とした研修会を開催します。	新型コロナウイルス感染拡大防止策の影響で校内オンラインによって研修を行いました。	令和5年度は、対面での研修が開催され、小中連携についての話し合いをしました。今後も連携を図る貴重な話し合いの場として充実させていきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑤	家庭への働きかけ	学校司書は学校図書館だより等を定期的に発行し、家庭への啓発に努めます。	学校図書館だよりを定期的に発行し、児童の読書意欲を喚起し、家庭への情報提供を行っています。	今後も定期的に学校図書館だよりを発行して本の紹介だけでなく、学校図書館を使った授業の様子なども発信します。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑤	家庭への働きかけ	長期休業中の課題や家庭学習の内容に読書を取り入れて、家庭で読書をする機会を作るよう、働きかけていきます。	長期休業中は貸出し数を増やし、各学年家庭学習に読書を取り入れています。	長期休業中は家庭での読書習慣を作る機会となるので、家庭学習に読書の取り入れていきたいです。	教育指導課・学校

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	2-(2)-⑤	家庭への働きかけ	司書教諭や図書担当教員が中心となり、教員が個人面談や保護者会等の機会に読書の必要性を話題にし、家庭での読書と呼びかけて、家庭との読書活動の協力体制づくりに努めます。	読書旬間中に、司書教諭が「家庭読書のすすめ」として家庭での読書を推奨し、実施後、各家庭から寄せられた声もまとめて配布しました。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑥	教職員への働きかけ	学校図書館の利用をテーマにした校内研修を行い、教職員の共通理解を深めていくよう努めます。	年度当初、教員が入れ替わった時期に、司書教諭が学校図書館の利用について研修をする時間を取っています。	読書活動の取り組みを学校内で統一するため、司書教諭から方針を学校全体に伝える時間を今後も取っていきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑥	教職員への働きかけ	教員による「おすすめ本」の紹介等を行い、教員自身が本の楽しさを伝える役割があることについて認識を高めます。	読書旬間に「教員のおすすめ図書」のおすすめポイントが書かれたものを掲示し、図書を展示をしました。	教員のおすすめ図書は児童に本への興味を起こさせるのに有効です。学校に所蔵している図書から選ぶようにします。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑥	教職員への働きかけ	長期休業期間の課題や家庭学習の内容に読書を取り入れて、家庭で読書をする機会を作るよう、働きかけます。	長期休業期間の課題に家庭学習として読書を取り入れ、休業前の授業では、いつもより長い期間内に読む図書選びの声を教員と行ってます。また、学年便りや保護者会で教員から家庭に、読書時間の取り方について伝えました。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑥	教職員への働きかけ	学校司書は、教職員向けの学校図書館だより等を作成し、教員の資質向上に向けた情報提供を行っていくよう努めます。	教職員向け学校図書館だよりを発行し、教職員へ情報提供し、学校図書館利用の啓発を行いました。	学校図書館にどのような図書があり、どの単元に使えるか伝え、学校図書館利用の啓発を引き続き行っていきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑥	教職員への働きかけ	西東京市立小学校教育研究会図書館部において研究を行い、各小学校に研究内容の普及啓発を図ります。	令和4年度、西東京市立小学校教育研究会図書館部の研究会が学校図書館で行われた際に、部員と学校司書が学校図書館の所蔵資料の構築について話し合い、各小学校に研究内容を普及するようにしました。	今後も引き続き連携し、話し合う機会を持っていきたいです。	教育指導課・学校
3 図書館							
	充実	3-(1)-①	小学生向けの参加型事業の実施	図書館利用のきっかけづくりとなるような企画や、子どもたちが本の魅力や読書の楽しさを、友だちと共感し合える企画を行うことで継続した読書につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 バックヤードツアーを谷戸図書館及び柳沢図書館で実施しました。 令和4年度 バックヤードツアーを中央図書館及びひばりが丘図書館で実施しました。 「一日図書館員」を市内全6館で実施しました。 	今後も図書館を体験できるイベントなど参加型行事を実施し、様々な場所で、図書館利用のきっかけづくりとなるような企画や、子どもたちが本の魅力や読書の楽しさを、友だちと共感し合える活動に取り組みます。	図書館
	充実	3-(1)-②	家庭で読書の楽しさを共有する事業の実施	子どもと保護者等が、一緒に読書の楽しさを共有する企画を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 保護者と一緒に参加できるバックヤードツアーを中央図書館で実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 はとさん文庫共催企画を実施します。 ①講演会「一人読みへのいざない ～『聞く読書』から『読む読書』へ～」 ②講演会「うたおう、あそぼうわらべうた」 ③講演会「子どもたちにおはなしの楽しみを」 <p>保護者と一緒に参加できるバックヤードツアーを継続して実施していきます。</p>	図書館

	取組名	概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	充実 3-(1)-③ 放課後子供教室への司書派遣	読書活動振興を目的に、要望に応じて放課後子供教室へ司書を派遣します。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、具体的な進展がありませんでした。 令和4年度 2小学校について、放課後子供教室の見学をしました。それをふまえて、見学を実施した1小学校で試行を行い、対象学年・構成等実施内容の検討を進めることができました。 	社会教育課との調整により、5小学校で放課後子供教室を実施する予定です。今後も、司書派遣について各小学校への周知を図りながら、社会教育課と調整し、要請に応じて児童サービス担当司書を派遣します。	図書館
	継続 3-(1)-④ 小学生向けおすすめ本リスト「で・あ・い」の見直し	小学生向けおすすめ本リスト「で・あ・い」の掲載内容の見直しを行います。	「で・あ・い」小学生の本のリスト」発行の後、選定した「すいせん図書」を中心に、「で・あ・い 2ー小学生の本のリスト」を発行しました。全館で「で・あ・い 2ー小学生の本のリスト」に掲載された本のコーナーを作り、貸出しの推進をはかりました。	今後も、全館で「で・あ・い 2ー小学生の本のリスト」に掲載された本の貸出しの推進を継続していきます。	図書館
	継続 3-(1)-⑤ 情報発信の充実	図書館ホームページを活用し、情報発信の充実に努めます。小学生向けの本の情報や選書に役立つリスト、行事等の案内、「西東京市子ども読書活動推進計画」についてのお知らせ等、様々な情報を掲載します。	「こどものページ」では、行事や新しい本・おすすめの本の紹介など、随時情報を更新しています。奇数月には「テーマの本」を掲載しました。	行事の案内・報告を発信するとともに、新しい情報の掲載・更新を継続していきます。	図書館
	継続 3-(2)-① 魅力ある書架づくりと提供方法の工夫	「西東京市図書館資料収集基準」に基づき、様々な興味にえられる資料を収集し、新鮮で魅力ある書架づくりを行います。また、展示を充実させ、子どもたちの読書のきっかけを作ります。	各館でのテーマ展示や特別展示を継続的に実施しました。	令和5年度に、小学生向けにすいせん図書を中心とした「冬休みおすすめバック♪」を作成します。低・中・高学年向けの3種類を用意します。今後も利用者の要望に応じて、各種企画していきます。資料の展示や、季節等のテーマごとに選んだ資料の展示を充実させ、子どもたちが手に取るきっかけを作ります。	図書館
	継続 3-(2)-② 図書館利用に困難がある子どもへの支援の充実	特別な支援を必要とする子どもたちには、ハンディキャップサービス担当職員と協力し、点字図書やマルチメディア図書やマルチメディア図書を収集して提供します。また、日本語を母語としない子どもたちとその保護者には、多文化サービス担当職員と協力し、外国語資料の収集、わかりやすい表示・案内、おはなし会でのサポート等、図書館を利用しやすくしていきます。	【ハンディキャップサービス】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 「マルチメディアディジー巡回展示」を谷戸図書館、柳沢図書館、保谷駅前図書館及びひばりが丘図書館で実施しました。 令和4年度 「まちなか先生」を3小学校にて実施し、ハンディキャップ資料の紹介をしました。 【多文化サービス】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3・4年度 英語・中国語・韓国語による「いろいろなことばでたのしむおはなし会」を実施しました。 中央図書館に日本語多読コーナーを開設しました。	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 【ハンディキャップサービス】マルチメディアディジーおはなし会を、中央図書館及びひばりが丘図書館で実施します。 「まちなか先生」を実施し、ハンディキャップ資料の紹介をします。	図書館
	継続 3-(2)-③ 「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」の提供	図書館資料の有効活用のため、図書館で小学生向けに作成した「夏休みすいせん図書」掲載の本をまとめた「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」を小学校や児童館、学童クラブ等に貸出します。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 10小学校151クラスへ貸出しました。 令和4年度 10小学校145クラスへ貸出しました。 	「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」の活用方法及びセット内容の見直しを行いながら、小学校や児童館、学童クラブ等に貸出します。	図書館

		取組名	概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課	
	継続	3-(2)-④	図書館の活用方法を伝える事業や図書館利用のきっかけになる事業の実施	図書館の資料の並べ方や宿題に利用できる資料の探し方等、図書館の活用方法を伝える企画を実施します。また、毎年夏休みに実施している「一日図書館員」等の事業に加え、更に図書館利用のきっかけになる新しい事業の実施に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 バックヤードツアーを谷戸図書館及び柳沢図書館で実施しました。 令和4年度 バックヤードツアーを中央図書館及びひばりが丘図書館で実施しました。 「一日図書館員」を市内全6館で実施しました。	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 バックヤードツアーを中央図書館、谷戸図書館で実施します。 第1回 西東京市図書館を使った調べる学習コンクールを開催します。 「一日図書館員」を市内全6館で実施します。 今後も継続していきます。	図書館
	継続	3-(2)-⑤	児童の受け入れ	小学校の要請に応じ、図書館の見学、「図書館の時間」、「町たんけん」等の事業を実施しています。児童が図書館を知り、身近に感じる体験により自主的に図書館を利用したいと思える環境づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、施設見学は1小学校でしたが、学校からの要請に応じて学校訪問による「町たんけん」の授業を5校で実施しました。 令和4年度 施設見学を15小学校で実施しました。 	図書館の見学等で児童を受け入れる課題として、大人数を受け入れることも多いので、日程や内容、職員体制の調整が必要です。 児童のタブレット活用に際しての注意事項の統一化が必要となっています。	図書館
	継続	3-(2)-⑥	発行物による本の情報提供や図書館ホームページでの情報提供	「夏休みすいせん図書」「ドキドキわくわく あたらしい本」「ドキドキわくわく 1ねんせい」を発行し、子どもたちに本の情報を提供していきます。	偶数月には「ドキドキわくわくあたらしい本」（児童サービス担当司書が選んだ本）、7月には「すいせん図書」のページを更新するなど、定期的に新しい情報を発信しました。 ※名称を「夏休みすいせん図書」は「すいせん図書」と変更しました。	図書館では、今後も小学生向けの情報誌を発行することで、子どもたちが本を選ぶ手助けとなるよう、本の情報を提供していきます。また、図書館ホームページ及び、西東京市子ども電子図書館での情報提供を継続していきます。	図書館
	継続	3-(2)-⑥	発行物による本の情報提供や図書館ホームページでの情報提供	図書館ホームページの「こどものページ」で、新しい情報を提供していきます。	児童サービス担当司書が作成した本の情報誌、イベントのお知らせ、報告を図書館ホームページで随時配信しました。	児童サービス担当司書が作成した本の情報誌、イベントのお知らせ、報告を随時配信していきます。	図書館
	継続	3-(2)-⑦	ボランティアとの連携	子どもの読書活動に関わるボランティアの読み聞かせ等の質の向上を目指し、講座、講演会を実施します。また、活動に必要な情報を提供します。	おはなし会ボランティアを対象に、令和3年度は、「フォローアップ講座」、令和4年度は、「中級講座」を実施しました。	読み聞かせの技術の向上を目的とする研修や講座を実施するとともに、活動に必要な情報を提供していきます。 令和5年度におはなし会ボランティアを対象に「フォローアップ講座」を実施します。	図書館
	継続	3-(2)-⑦	ボランティアとの連携	おはなし会の充実を図るため、児童サービス担当司書とおはなし会に関わるボランティアとの合同会議を実施します。また、おはなし会ボランティアについては「フォローアップ研修」を実施し、質の向上を目指します。	合同会議は新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、実施できていません。 令和3年度は、ボランティアを対象に「フォローアップ研修」を実施しました。	おはなし会の充実と情報共有のため、児童サービス担当司書とボランティアが一堂に会する合同会議を今後も継続して開催します。 ボランティアの読み聞かせや手あそび等の技術向上のため、年齢が一定でないおはなし会対象者に沿ったいろいろなテーマで研修を実施します。	図書館
	継続	3-(2)-⑦	ボランティアとの連携	西東京市子ども読書活動推進計画策定懇談会委員の呼びかけにより、小学生に読み聞かせをしている保護者とともに「小学校保護者による読み聞かせ交流会」を今後も継続して実施していきます。	新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、学校での読み聞かせが中止となり、「小学校保護者による読み聞かせ交流会」は実施しませんでした。	学校での読み聞かせが再開しているため、図書館が西東京市子ども読書活動推進計画策定懇談会委員に連絡・情報を収集し、以前のように定期的実施していくよう声かけをしていきます。	図書館

	取組名	概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続 3-(2)-⑧ 司書の派遣	小学校からの要請に応じ、児童サービス担当司書を派遣します。	・令和4年度 「まちなか先生」を小学校1年生対象に実施しました。	司書派遣を行っていることを周知するとともに、要請に応じ、児童サービス担当司書を派遣します。	図書館
	継続 3-(2)-⑧ 司書の派遣	子どもの読書に関わる団体の要請に応じ、児童サービス担当司書を派遣します。	・令和3年度 「南町地区会館ぞうさん文庫」主催の定例会、芝久保公民館・図書館共催講座「平和を考える講座『子どもと大人の平和を考える読み聞かせ』」に児童サービス担当司書を派遣しました。 ・令和3・4年度 「子どもの本の勉強会」主催の定例会に児童サービス担当司書を派遣しました。	令和5年度は、「子どもの本の勉強会」主催の定例会、「Como-café」主催の「Como-café」に児童サービス担当司書を派遣します。 今後も、司書派遣を行っていることを周知するとともに、要請に応じ、児童サービス担当司書を派遣します。	図書館
	継続 3-(2)-⑨ 小学校・関係諸機関への協力と連携	小学校、児童館、学童クラブ等への除籍資料の配布を継続して行い、資料の有効活用と地域における子どもの読書環境の充実を図ります。	寄贈及び除籍された児童資料の有効活用のため、市立小学校、児童館及びそれに準ずる施設に除籍資料の配布を行いました。	より多くの除籍資料を活用していただけるよう、本を精査し、配布を継続していきます。	図書館
	継続 3-(2)-⑨ 小学校・関係諸機関への協力と連携	団体貸出の利用促進と迅速な資料提供を進めます。	令和3・4年度とも学校司書連絡会に児童サービス担当司書が出向き、新任学校司書に図書館サービスについて伝えました。	令和5年度に学校司書が増え、新任の学校司書も多いため、団体貸出について説明するとともに、活用してもらえるよう図書館職員がきめ細やかなフォローをしていきます。	図書館
	継続 3-(2)-⑨ 小学校・関係諸機関への協力と連携	小学校での学習内容の変化に対応した資料を収集し、提供します。	学校司書連絡会に参加し、情報交換をしました。また、学校司書の要望によっては複冊資料を提供し、配送の希望にも沿うようにしました。	今後も連携を取りながら、調べ物の資料や学習内容の要望に沿うような資料の提供をしていきます。	図書館
	継続 3-(2)-⑨ 小学校・関係諸機関への協力と連携	学校司書と連携し情報の共有を図り、迅速な資料提供を行います。	学校司書連絡会に児童サービス担当司書が出向きました。令和4年度からは、新刊紹介も実施しました。	定期的に学校司書連絡会に出向き、学校司書が抱えている課題を共有することにより、課題を解決をしていきます。	図書館
	継続 3-(2)-⑩ 子どもの読書活動推進に関する企画の実施	子どもの読書活動を推進する講演会及び講座を実施する際は、市民団体等と連携した事業の実施に努めます。	・令和3年度 「子どもの成長と絵本」講演会を実施しました。 講師：市村久子氏（絵本研究家） 「目で見ると読むと異なる西東京市子ども読書活動推進計画」パネル展を実施しました。（12団体参加） ・令和4年度 「子どもたちにおはなしを～おはなしボランティア入門講座～」(全3回講座)を実施しました。 講師：もぐらの会	・令和5年度 はとさん文庫共催企画を実施します。 ①講演会「一人読みへのいざない ～『聞く読書』から『読む読書』へ～」 ②講演会「うたおう、あそぼうわらべうた」 ③講演会「子どもたちにおはなしの楽しみを」	図書館
	継続 3-(2)-⑪ 児童サービス担当司書の研修の充実	児童サービス担当司書が子どもの読書活動を十分に推進できるよう、積極的に研修に参加し読書相談や読書活動に必要な知識を習得し、専門性の向上に努めます。	令和3年度は、東京都公立図書館児童サービス・青少年サービス合同担当者会、令和4年度は、多摩地区児童サービス研究会に参加し、研修とともに他自治体の児童サービス担当司書との情報交換を行いました。	今後も積極的に研修に参加し、読書相談や読書活動に必要な知識を習得し、専門性の向上に努めていきます。	図書館
	継続 3-(2)-⑪ 児童サービス担当司書の研修の充実	児童サービス担当司書が、参加した研修内容を共有することで担当全体のレベルアップを図ります。	参加した研修内容を他の児童サービス担当司書と知識を共有し、担当全体のレベルアップを図りました。	職員が専門的研修へ参加して得た知識などを職員全体で共有する取り組みにより、図書館組織全体で職員の専門性を高め、育成することでレベルアップを図ります。今後も積極的に研修に参加していきます。	図書館

取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課	
Ⅲ 中高生世代、YA（ヤングアダルト）世代を対象とした取組						
1 児童館						
充実	1-(1)-①	「あそびのなかの図書室」を発信	リラックスして楽しめる本、ちょっと立ち止まって自分を考えるきっかけになるような本、将来の趣味につながるような本などがある場所であることを発信していきます。	世間で話題になっていることを取り入れたり、日々の活動の中で利用者のニーズを探り、はたらきかけています。	学校の図書室でも図書館でもない、児童館ならではの使い方ができる場所であることをPRしていきます。	児童青少年課
充実	1-(1)-②	蔵書の充実	自主学习をサポートするため、辞書や簡単な調べものに対応できる本を整えます。また、進学・将来についての書籍も増やしていきます。	既存の本の維持管理を行い、利用者のリクエストを取り入れて購入・紹介等をおこなっています。	必要なものは計画的に少しずつ買い替え等をしていきます。	児童青少年課
充実	1-(2)-①	本を手に取りやすい環境の整備	視覚からも興味をもてるような配架の工夫等で本を手に取りやすい環境を整えます。	世間で話題になっていることや利用者の関心がある事柄に関する特集コーナーを作る等をしています。新刊はポップを作って手に取りやすい環境作りを行いました。	読んでみようかと思えるように配架等を工夫していきます。	児童青少年課
充実	1-(2)-①	利用者の意見に耳を傾ける	今後も継続して利用者の要望を取り入れながら雑誌等を購入していきます。	図書館や利用者からのリサイクル本も活用し、限られた予算の中で購入するようにしています。	リサイクル本も活用しながら、利用者の要望がかなうようにしていきます。	児童青少年課
2 教育指導課・学校						
充実	2-(1)	学校図書館の充実	令和3年度の中学校教科用図書の改訂に伴い、教育課程の展開に寄与するため各教科等で必要な資料について再度、検討を行います。言語活動や情報活用能力の向上に資するための蔵書と学習内容の整合性を図ります。	令和3年度の教科書改訂で、20数年ぶりに国語教科書の変更に伴い、図書費のうち相当な金額を割いて購入、教科指導に対応しました。道徳教科書関連資料についても、購入に努めています。	国語科および道徳科以外の教科の図書利用を広げ、深めるため、司書教諭と学校司書の連携により、さらに工夫する必要があります。また、探求学習に活かせる資料の充実を図っていきます。	教育指導課・学校
充実	2-(1)	学校図書館の充実	学校図書館における図書資料について、廃棄と買い替えを進め図書資料の充実を図ります。	文部科学省「学校図書館標準」に則り、変化の著しい現代社会に対応する資料を研究して、所蔵資料の精査を行い、廃棄・買替を進めています。	学校図書館法第二条「教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成」する資料であるかについて精査するとともに、デジタル情報では得られない、紙ならではの情報・内容を備えた資料であるかとの蔵書の精査が不断に求められます。	教育指導課・学校
充実	2-(1)	学校図書館の充実	司書教諭と学校司書が連携し、各教科の学習内容や学習課題について必要な情報を精査して生徒に提供できるように努めます。	国語科・総合学習（校外学習・修学旅行など）を中心に、日常的な情報交換を行い、教科指導や課題学習の支援に努めました。	今後は特に、デジタル情報では得られない情報について、さらに精査した蔵書の構築を図り、学習の支援に当たる必要があると考えます。また、学習センターとしての機能（個別で学習できる機の配置など）について検討します。	教育指導課・学校
継続	2-(2)-①	読書指導の充実	課題図書を選定し「合同書評会」を毎年実施することで、読書の楽しさを伝えます。	令和3年度「合同書評会」（現行の名称「ブックフェスティバル」）は、新型コロナウイルス感染症の影響につき実施が見送られました。令和4年度については、各校で本の紹介動画を作成、録画を送付し、共有しました。	今後、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、従来型の対面での開催について模索することも必要と考えます。	教育指導課・学校

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	2-(2)-①	読書指導の充実	毎年4月頃に学校図書館のオリエンテーションを行い、学校図書館の利用について指導をします。	新入生全員および上級生に対しても4月の早い時点で図書館オリエンテーションを実施、利用指導を行いました。	今後は、1年生のみならず、各学年での段階的利用指導をすすめるなど、オリエンテーションをさらなる利用につなげるよう努めます。	教育指導課・学校
	継続	2-(1)-①	読書指導の充実	学校図書館では、教育課程の展開に寄与するため自校の学校図書館にない本や授業に関連した資料を幅広く提供できるよう、図書館や他校との相互貸借等の連携を深めるように努めます。	市図書館からの団体貸出をはじめ、各校所蔵資料の相互貸借を活用し、幅広い資料要求にこたえています。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-①	読書指導の充実	司書教諭や学校司書が中心となり、学校生活に関わる様々な教科指導の中における本の活用を考え、読書の意義や楽しさを伝える取組を行うよう努めます。	司書教諭と学校司書が連携して、日常的な教科指導・総合学習などの情報交換を行い、時期を逃さず所蔵資料の利活用ができるよう努めました。	司書教諭と学校司書との日常的な連携・情報共有については、時間的な余裕が不可欠であり、さらなる工夫が求められます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-①	読書指導の充実	中学校の図書委員会において、集会の実施や図書を紹介、読み聞かせ、新聞やポスターの作成、委員会のおすすめ本のリスト作成や読書会を企画する等、生徒の主体的な委員会活動の範囲を広げられるよう、創意工夫をします。	新型コロナウイルス感染症の影響により、特に令和3年度については、図書委員会活動においても、当番の人数制限などを行いました。4年度については、感染の広がりに留意しつつ、ほぼ通常通りの活動を行いました。特に非接触で行うことのできるポスターや本のポップ制作などに重点的に取り組みました。	感染症の影響に引き続き留意しつつ、委員会活動をほぼ通常通りに戻し、生徒の主体的な活動範囲を広げられるよう努めます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-②	読書習慣の定着	「朝読書」「業間読書」「読書週間」「読書旬間」「読書月間」を設けることで、読書の習慣化を促します。	11月の西東京市読書月間はもとより、各校の状況に合わせ、学期ごとの読書週間・読書旬間などを設定し、読書の習慣化をはかっています。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-②	読書習慣の定着	教育委員会では、毎年11月を西東京市読書月間とし、読書活動の活発化を促します。	11月の西東京市読書月間はもとより、各校の状況に合わせ、学期ごとの読書週間・読書旬間などを設定し、読書の習慣化をはかっています。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-③	研修の実施	学校司書連絡会を定期的に実施して、情報交換や資質向上のための研修を行います。	新型コロナウイルス感染症のため、学校司書連絡会開催は令和3年度については5回、令和4年度については6回行われ、貴重な情報交換・資質向上の研修となりました。	令和5年度から勤務体系も変わったので、より情報交換が必要になりました。単なる連絡の時間ではなく、情報の共有を通して、より良い勤務状況を模索しつつ、資質向上に努めます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-③	研修の実施	教育委員会が主催する司書教諭及び図書担当教員並びに学校司書を対象とした研修会を開催します。	対面での研修については、令和3・4年度とも新型コロナウイルス感染症の影響により見送られ、校内でオンラインによる研修が開催されました。	令和5年度より、対面での研修が開催され、小中連携に関わる司書教諭3名（小学校2名・中学校1名）と学校司書2名が連携について具体的に話し合いました。	教育指導課・学校

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	2-(2)-④	家庭への働きかけ	学校司書は学校図書館だよりなどを定期的に発行し、家庭への啓発に努めます。	学校図書館だよりなどを継続的に取り組むことで、生徒の読書意欲を喚起し、図書の貸出により、家庭への啓発も進めています。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-④	家庭への働きかけ	長期休業中の課題や家庭学習の内容に読書を取り入れて、家庭で読書をする機会を作るよう、働きかけていきます。	長期休業前に、司書教諭の依頼により、学校司書がブックトークなどを行い、読書感想文やポップ制作などの課題作成への支援を行っています。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-④	家庭への働きかけ	司書教諭や図書担当教員が中心となり、教員が個人面談や保護者会等の機会に読書の必要性を話題にし、家庭での読書と呼びかけて、家庭との読書活動の協力体制づくりに努めます。	教員および学校司書からの働きかけを契機に、生徒自身からも家庭で読書について話題を提供できるよう、日常的な読書案内を行いました。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑤	教職員への働きかけ	教員による「おすすめ本」の紹介等を行い、教員自身が本の楽しさを伝える役割があることについて認識を高めます。	長期休業前や西東京市読書月間などの機会をとらえ、図書室内に教員による「おすすめ本」の展示コーナーなどを設置、図書だよりの特別号などで紹介を行っています。生徒の関心も高く、読書意欲の喚起につながっています。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑤	教職員への働きかけ	長期休業期間中の課題や家庭学習の内容に読書を取り入れて、家庭で読書をする機会を作るよう、働きかけます。	長期休業前に、司書教諭の依頼により、学校司書がブックトークなどを行い、読書感想文やポップ制作などの課題作成への支援を行っています。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
	継続	2-(2)-⑤	教職員への働きかけ	学校司書は教職員向けの学校図書館だよりなどを作成し、教員の資質向上に向けた情報提供を行っていくように努めます。	教職員向け学校図書館だよりにより、学校図書館担当教員以外の教職員への図書館利活用啓発の情報提供を行いました。	今後も継続していきます。	教育指導課・学校
3 図書館							
	充実	3-(1)-①	参加型の事業の実施	読書会等、本を通じてコミュニケーションを楽しむイベントや、図書館利用のきっかけとなるワークショップを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 本を楽しむ！本で楽しむ！YAワークショップ『プレゼントブック～だれかに本を贈るなら～』を実施しました。 令和4年度 短歌作りワークショップ『詠んでみよう、わたしの短歌』を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 『「伝わる」文章術、伝授します！！』を実施します。今後もYA世代のニーズを探りながら、様々な体験型ワークショップを実施します。中高生の集客に課題を残しているため、企画立案時からのYA世代の参加や、意見を反映する仕組みを検討します。また合わせて、効果的な広報についても検討します。 	図書館

		取組名	概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課	
	充実	3-(1)-②	調べ方案内（パスファインダー）の作成	YA世代に向けて、調べ方案内（パスファインダー）を作成し、いつでも活用できるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 他自治体公共図書館の先行事例の検証を行いました。 令和4年度 中学生の日常生活や学習活動を取り巻く状況、ニーズの把握のため、市立中学校の学校司書を対象にアンケート調査を実施しました。これらの結果から、魅力的なパスファインダーのイメージの構築と、中学校現場のニーズに即したテーマ選定ができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 パスファインダーを「修学旅行」「SDGs(1～8)」のテーマで作成し、図書館ホームページ及び、西東京市子ども電子図書館へ掲載します。 パスファインダーの利用の動向を踏まえながら、よく質問を受けるテーマや話題のテーマについて、順次拡大をしていきます。	図書館
	充実	3-(1)-③	中学生向けおすすめ本リスト「道しるべ」の見直し	中学生向けおすすめ本リスト「道しるべ」の掲載内容の見直しを行います。	「道しるべー中学生の本のリスト」の後、選定した「すいせん図書」を中心に、「道しるべ 2ー中学生の本のリスト」を発行しました。 全館で「道しるべ 2ー中学生の本のリスト」に掲載された本をのコーナーを作り、貸出しの推進をはかりました。	今後も、全館で「道しるべ 2ー中学生の本のリスト」に掲載された本の貸出しの推進を継続していきます。	図書館
	充実	3-(1)-④	情報発信の充実	図書館ホームページを活用して広報を推進し、図書館利用のきっかけづくりに努めます。YA世代向けの本の情報や選書に役立つリスト、行事等の案内、「西東京市子ども読書活動推進計画」についてのお知らせ等、様々な情報を掲載します。	「新刊情報」のページでは、新着本の情報を毎月掲載し、YAコーナー資料の最新情報を提供しています。お知らせのページでは、イベント情報・「CATCH」発行のPR記事を掲載しています。「CATCH」のページでは、本の情報誌「CATCH」で紹介された本の情報や、共同編集の様子を写真とともに発信し、共同編集に興味を持ってもらえるような情報発信を行っています。	今後もYA世代に有益な情報やイベントを、見やすく敏速に掲載し、YA世代に伝えられるよう情報発信を継続していきます。	図書館
	継続	3-(2)-①	魅力ある書架づくりと提供方法の工夫	「西東京市図書館資料収集基準」に基づき、資料を収集し充実を図ります。テーマ展示の実施やYA世代のニーズに応じた資料を収集し、魅力ある書架づくりを行います。YA世代に向けて居場所づくりをすすめ、将来にわたり読書する習慣を身に付けるきっかけを作ります。	ノンフィクションを中心に、新刊を積極的に購入し、新鮮な書架を目指しました。YA向けイベントで参加者が選んだ本を期間展示したり、ワークショップで参加者が詠んだ短歌を掲示、関連本を展示するなど、YAの目に留まる棚となるよう工夫しました。	YA世代のニーズに応じた資料を収集し、YA世代が活用しやすいコーナーづくりに努めます。特に、ノンフィクション分野においては、学習指導要領に謳われている「探究的な学習」に対応できる、より新しく確かな情報が含まれる資料を幅広く収集します。また、時事性、話題性にも留意し充実をはかります。	図書館
	継続	3-(2)-②	図書館利用に困難があるYA世代への支援の充実	特別な支援を必要とするYA世代には、ハンディキャップサービス担当職員と協力し点字図書やマルチメディアディスプレイ図書を収集して提供します。また、日本語を母語としないYA世代には、多文化サービス担当職員と協力し、外国語資料の収集、わかりやすい表示・案内等、図書館を利用しやすくしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 ひばりが丘図書館YAコーナーにLLブックコーナーを設置しました。 中央図書館に日本語多読コーナーを開設しました。	「まちなか先生」を実施し、ハンディキャップ資料の紹介をします。 中央図書館YAコーナーにLLブックコーナーを設置予定です。 やさしい日本語で図書館を案内する動画の配信を継続していきます。	図書館
	継続	3-(2)-③	「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」の活用の推進	図書館資料の有効活用のため、図書館で中学生向けに作成した「夏休みすいせん図書」掲載の本をまとめた「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」の活用を積極的に中学校・児童館へPRし利用を促進します。	中学校に向けての貸出しはありませんでした。	「いいね！！西東京市図書館おすすめ（セレクト）本」の活用方法及びセット内容の見直しを行うことで、さらに中学校での利用を促進します。	図書館

		取組名	概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
継続	3-(1)-④	図書館の活用方法を伝える事業の実施とYA世代に役立つ企画の実施	図書館の利用につながるような使い方についての講座や、YA世代に役立つ講座を企画し実施します。	図書館の使い方講座は未実施ですが、利用方法を伝える内容を令和5年度作成のパスファインダーに加えて、周知しました。 YA世代に役立つ講座は、3-(1)-①（参加型の事業の実施）参照。	「まちなか先生」の授業や、中学校の図書委員との連携事業等で、図書館の利用方法の周知に取り組みます。今後もYA世代に役立つ講座を実施します。	図書館
継続	3-(1)-⑤	職場体験および「一日図書館員」の受け入れ	職場体験の受け入れや「一日図書館員」を実施し、図書館の様々な仕事を体験してもらいます。体験を通して図書館への理解と関心を深めることで、図書館利用の促進を図ります。	例年受け入れを行っていた市立中学生の職場体験は、令和3・4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策のため実施せず、令和4年度高校生2名を受け入れました。 「一日図書館員」は、令和4年度再開し、市内全6館で実施しました。	今後も職場体験の受け入れや「一日図書館員」を実施していきます。 参加者が、図書館への理解と関心を深め、図書館利用につながる機会を作っていきます。	図書館
継続	3-(2)-⑥	発行物による情報提供や図書館ホームページでの情報提供	「夏休みすいせん図書」やYA世代との共同編集で作成している「CATCH」を発行し、YA世代に本の情報を提供します。更に多くのYA世代に読んでもらえるような工夫をします。	「すいせん図書」（7月）と「CATCH」（7・11・3月 年3回）を発行し、本の情報を提供をしました。 ※名称を「夏休みすいせん図書」は「すいせん図書」と名称変更しました。	図書館では、今後もYA世代へ向けての情報誌を発行することで、子どもたちが本を選ぶ手助けとなるよう、本の情報を提供していきます。また、図書館ホームページ及び、西東京市子ども電子図書館での情報提供を継続していきます。 行事の案内・報告を発信するとともに、今後もYA世代に有益な情報やイベントを、見やすく敏速に掲載し、YA世代に伝えられるよう情報発信を継続していきます。	図書館
継続	3-(2)-⑥	発行物による情報提供や図書館ホームページでの情報提供	図書館ホームページの「Young Adult -10代のためのページ」で新しい情報を提供していきます。	本の情報、イベントのお知らせ、報告を随時配信しました。	令和5年度に、「修学旅行」「SDGs(1～8)」のテーマでパスファインダーを作成し、図書館ホームページ及び、西東京市子ども電子図書館へ掲載していきます。 YAサービス担当司書が作成した本の情報、イベントのお知らせ、報告を随時配信していきます。	図書館
継続	3-(2)-⑥	発行物による情報提供や図書館ホームページでの情報提供	中学生向けに利用案内を配布し、YA世代の図書館の利用を推進していきます。	YA向け新刊図書情報や、電子書籍の新着情報、またイベントの告知や展示のお知らせなど、情報を随時最新のものに更新しました。	図書館ホームページ及び、西東京市子ども電子図書館での情報提供を継続します。また、各種SNSも併用しイベントの告知等を進めていきます。	図書館
継続	3-(2)-⑥	発行物による情報提供や図書館ホームページでの情報提供	様々な場所で学び、生活している10代後半の人たちに、生涯にわたる学習を保障し支援する公共図書館の利用を呼びかけていきます。	令和3・4年度、卒業を迎える市内中学3年生に向けて、「居場所」としての図書館をPRし、図書館利用のきっかけづくりとするため、図書館から「卒業お祝いカード」を贈る事業を実施しました。	図書館がYA世代の居場所であり、生涯にわたっての課題解決ツールであることを周知し、図書館利用を促すための取組として今後も「卒業お祝いカード」を贈る事業を継続していきます。	図書館
継続	3-(2)-⑦	司書の派遣	中学校・高等学校等からの要請に応じ、YAサービス担当司書を派遣します。	・令和4年度 「まちなか先生」として、1校『「職業」・「仕事」の本の紹介』の講座を実施しました。	・令和5年度 「まちなか先生」として『図書館』×『仕事』一本で結ぶ「WORK」とわたしーの講座を実施します。 今後も、司書派遣を行っていることを周知するとともに、要請に応じ、YAサービス担当司書を派遣します。	図書館
継続	3-(2)-⑧	中学校・高等学校等、関係諸機関への協力と連携	中学校や高等学校等、関係諸機関の団体貸出の利用促進と迅速な資料提供を継続して実施します。	令和3年度は、中学校関係10団体におよそ600冊、4年度は10団体に340冊の団体貸出を実施しました。	今後も中学校との連携を図るとともに、高等学校との連携が課題であるため、どのようなアプローチが可能か検討します。	図書館
継続	3-(2)-⑧	中学校・高等学校等、関係諸機関への協力と連携	中学校・高等学校等から依頼された学習のテーマに沿った資料を取りそろえ貸出しを行います。	市立中学校からの要望に応じて資料を用意、随時提供しました。	今後も中学校との連携を図るとともに、高等学校との連携が課題であるため、どのようなアプローチが可能か検討します。	図書館

		取組名		概要	現状（3年・4年度の取組実績）	課題・改善点（5年度以降取組予定）	所管課
	継続	3-(2)-⑧	中学校・高等学校等、関係諸機関への協力と連携	中学校、児童館等への除籍資料の配布を継続して行い、資料の有効活用と地域における子どもの読書環境の充実を図ります。	寄贈及び除籍された児童資料の有効活用のため、中学校、児童館等に除籍資料の配布を行いました。	中学校からの参加が少ないことは、学校図書館の蔵書が充足しているのか、除籍資料の内容や質の問題か、または、配布日程に問題があるのか、要因把握に努め、適切に対応します。	図書館
	継続	3-(2)-⑨	子どもの読書活動推進に関する企画の実施	子どもの読書活動を推進する講演会及び講座を実施する際は、市民団体等と連携した事業の実施に努めます。	市民団体等と連携した事業は実施しませんでした。短歌作りワークショップ「詠んでみよう わたしの短歌」を実施しました。講師：小島なお氏 「本を楽しむ！本で楽しむ！YAワークショップ『プレゼントブック～だれかに本をおくるなら～』」 講師：渡邊有子氏（学校司書） を実施しました。	今後は市民団体等と連携した事業の実施の検討をし、YA世代が参加しやすいイベントを実施していきます。	図書館
	継続	3-(2)-⑩	YAサービス担当司書の研修の充実	YAサービス担当司書が子どもの読書活動を十分に推進できるよう、積極的に研修に参加し読書相談や読書活動に必要とされる知識を習得し、専門性の向上に努めます。	令和3年度は、東京都公立図書館児童サービス・青少年サービス合同担当者会、令和4年度は、多摩地区児童サービス研究会に参加し、研修とともに他自治体の児童サービス担当司書との情報交換を行いました。	今後も積極的に研修に参加し、読書相談や読書活動に必要とされる知識を習得し、専門性の向上に努めます。	図書館
	継続	3-(2)-⑩	YAサービス担当司書の研修の充実	YAサービス担当司書が、参加した研修内容を共有することで担当全体のレベルアップを図ります。	参加した研修内容を他の児童サービス担当司書と知識を共有し、担当全体のレベルアップを図りました。	職員が専門的研修へ参加して得た知識などを職員全体で共有する 取り組みにより、図書館組織全体で職員の専門性を高め、育成 することでレベルアップを図ります。今後も積極的に研修に参加していきます。	図書館

第4期西東京市子ども読書活動推進計画

～「令和3・4年度の実績】及び「課題・改善点（令和5年度以降予定）」～

教育部図書館

〒188-0012 東京都西東京市南町五丁目6番11号

Tel042-465-0823 / Fax042-463-9150